

得られた効果 凡例

- ア: 新型コロナウイルスの感染拡大防止につながった
- イ: 子育て世帯等の家計の負担軽減につながった
- ウ: 医療提供体制の強化や医療機関、医療従事者への支援につながった
- エ: 社会生活の維持に必要な事業者の支援につながった
- オ: 雇用や事業の継続など中小事業者等への支援につながった
- カ: 地域経済の活性化につながった
- キ: 物価高騰・原油価格高騰などに対する支援につながった

資料4

No	事業名	事業の種別	事業概要	総事業費 (円)	交付対象経費 (円)			事業 始期	事業 終期	事業実施内容	成果目標	成果(実績)	得られた効果	事業の対 象者への 効果 の聞き 取り	聞き取りの 方法	聞き取り内容	担当課
					交付対象経費 (円)	交付金充当額 (円)	一般財源 (円)										
①	窓口サービス向上事業	感染防止対策・社会活動再開支援	新型コロナウイルス感染症防止のため職員との接触機会を減少させることを目的とし、会計窓口へ非接触型レジを導入することにより市民が安心できる窓口サービスを提供するもの。	16,690,300	16,690,300	15,450,000	1,240,300	R4.11.22	R5.3.16	新型コロナウイルス感染症防止のため職員との接触機会を減少させることを目的とし、本庁舎や支所等の会計窓口へ合計8台の非接触型レジを導入した。 事業経費は以下のとおり。 ・備品購入費 16,690,300円	①窓口におけるレジ業務の所要時間を平均15%以上削減 ②会計時の人為的な誤りの防止率100%	①1日あたりの所要時間は従来より30%以上の所要時間削減を達成。 ②会計時の人為的な誤りの防止率100%達成	非接触型レジを導入することにより、感染症が拡大する中で市民からの安心感を得ることが出来た。また、本レジ導入によりキャッシュレス決済の利用を強く求める声が市民から多く寄せられ、本市でもキャッシュレス決済導入について積極的に検討するきっかけとなった。	○	対面	・金銭及びレシートの授受のやりとりを直接行わないので何より安心できた。 ・ディスプレイの表示やレシートに打ち出される商品明細が以前より見やすくなった。 ・キャッシュレス決済に対応しておらず不便さを感じた。	赤坂支所庶務課 あずま支所庶務課 境支所庶務課 市民税課 市民課
②	スポーツ活動支援事業	感染防止対策・社会活動再開支援	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けてスポーツ業界の活動が停滞したため、一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会が新型コロナウイルスの感染拡大防止のために購入するサーモグラフィカメラ及び大型ミスト噴霧器に対して補助を行い、市民が安心してスポーツに携われる環境づくりを創出するとともに、スポーツ活動の活性化を図るもの。	1,725,790	1,725,790	1,597,000	128,790	R4.4.1	R4.5.19	一般財団法人伊勢崎市スポーツ協会からの申請に基づき、1,725,790円を支給した。事業経費は以下のとおり。 ・サーモグラフィカメラ(5台): 900,790円 ・大型ミスト噴霧器(1台): 825,000円	サーモグラフィカメラ及び大型ミスト噴霧器の年間合計利用件数10回以上 (サーモグラフィカメラ: 19回、大型ミスト噴霧器: 11回)	サーモグラフィカメラ及び大型ミスト噴霧器の年間合計利用件数30回	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けて活動が停滞したスポーツ業界において、サーモグラフィカメラ、大型ミスト噴霧器を活用したことで、参加者が安心してスポーツ活動に携われることができ、スポーツ活動の活性化が図られた。	○	電話	・多くの参加者が集まる大会等において、サーモグラフィカメラを活用することで、その場で簡単に参加者の体調を判別することができた。 ・ハンディタイプの検温機を使用するよりも、測定者の人員が削減でき、また被検者との接触がないため、安心して測定ができた。 ・大きな会場でも除菌が可能な大型ミスト噴霧器を移動することで、コロナウイルスを心配することなく安心して競技ができた。	スポーツ振興課
③	文化芸術活動発表等支援事業	感染防止対策・社会活動再開支援	新型コロナウイルスの影響により、市内文化施設等での発表会や展示会等の開催を自粛していた文化芸術団体に対し、コロナ対策を講じた事業の開催に助成をすることにより、文化芸術活動の再開や継続の支援をするもの。	4,122,000	4,122,000	3,816,000	306,000	R4.4.1	R5.3.2	対象期間中に市内文化施設で発表・展示を実施した44団体へ合計4,122,000円の助成を行った。団体の内訳は以下のとおり。 ・芸術文化事業(美術・書道展等) 23団体 ・伝統文化事業(日舞、吟剣等) 11団体 ・音楽、演技文化事業(オーケストラ、コーラス、演劇等) 10団体	支援助成団体数50団体	支援助成団体数44団体	助成金を交付することで、活動を休止していた団体の動き出しの契機となった。また、活動を継続してきた団体についても、負担感の減少が図れた。	○	実績報告書・対面	・通常であれば、会員からの参加費により開催運営をしていたが、助成により会員の負担を少なくすることができ、参加の呼びかけもスムーズに行えた。 ・会場費助成が出たため、感染対策として広い会場を使用することができた。	文化観光課
④	雇用対策事業	事業者への支援	市内の中小企業における新型コロナウイルス感染症の影響による失業の予防と雇用の安定を目的として、雇用調整助成金の支給決定を受けた中小企業へ助成金を支給するもの。	8,044,730	8,044,730	7,447,000	597,730	R4.4.1	R5.3.30	国の雇用調整助成金の支給決定を受けた、市内に事業所を有する事業者のうち対象期間中に申請を行った者について、従業員の休業手当と国の支給額との差額の2/5と社会保険労務士への依頼費用の4/5の合計額を限度額50万円の範囲内で支給した。事業経費は以下のとおり。 ・給付金 25件 8,043,609円 ・通信運搬費(郵便料) 1,121円	支給件数・金額10件・500万円	支給件数・金額25件・8,043,609円	新型コロナウイルス感染症が拡大する中で事業活動の縮小を余儀なくされた市内の中小企業者に対し、給付金を支給したことによって、従業員の雇用の維持や事業の継続など中小事業者等への支援につながった。	-	-	-	商工労働課
⑤	小規模事業者サポート補助金事業	事業者への支援	市内で事業を営む者の業務改善や生産性向上による経営強化を支援し、コロナ禍における地域経済の活性化を図るため、小規模事業者に対して対象となる経費の一部を補助するもの。	25,374,000	25,374,000	23,491,000	1,883,000	R4.4.1	R5.3.30	受付期間中に商工団体による事業計画書の策定支援を受けた小規模事業者からの申請のうち、交付決定となった64事業者に補助金を交付した。事業経費は以下のとおり。 ・補助金 25,374,000円(1件当たり最大50万円)	交付件数72件	交付件数64件	補助金を交付することで、コロナ禍においては目下の経営の維持と比較して優先度の低い業務改善や生産性向上に向けた取り組みに対して、小規模事業者の後押しができ、持続可能な経営基盤づくりの支援が行えた。	-	-	-	商工労働課
⑥	Made in いせさきコロナ対応製品等購入に係る事業者支援事業	事業者への支援	市内医療関連施設等に対して、市が新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び安定的な事業継続に資すると認めた市内製品の購入費を補助するもの。	228,669,825	228,669,825	211,701,000	16,968,825	R4.6.24	R5.3.30	市内で医療、福祉、教育施設、ストップコロナ認定店、運送業、製造業を運営する法人又は個人事業主に対し、市内の生産拠点で製造された製品又は市内販売業者が販売している製品のうち、市長が新型コロナウイルス感染症拡大の防止及び安定的な事業継続に資するものを認定し、認定した機器及び物資等の購入額の一部を補助金として交付した。事業経費は以下のとおり。 ・補助金 376件 228,042,000円 ・印刷製本費 297,825円 ・ホームページ改修業務委託費 330,000円	事業を活用した製造・販売事業者のうち、販路拡大に成功した企業の割合60%	事業を活用した製造・販売事業者のうち、販路拡大に成功した企業の割合75%(アンケート回答企業28社中21社が販路拡大に成功)	補助金を交付することで、市内の医療、福祉、教育施設、ストップコロナ認定店、運送業、製造業において、感染対策の強化、安定的な事業継続が図られたとともに、製品の製造及び販売を行う企業の売上の向上や販路の拡大に寄与でき、地域経済の活性化を促進できた。	○	アンケート・対面	・素晴らしい伊勢崎の製品と出会うことができ、活用できたことをありがたく思った。引き続き、感染防止と顧客満足度を上げることで、売り上げ拡大に繋げていきたいと心から思った。(購入者) ・コロナ禍で本当に大変な時に感染拡大防止のための設備投資に補助金を出していただき本当に助かった。(購入者) ・補助金があることによって、新規提案活動、新規顧客からの問い合わせが増えた。(販売者) ・売り上げアップに繋がりが大変助かった。(販売者)	企業誘致課
⑦	ごみ収集指定袋価格高騰対策事業	物価高騰に直面する生活者支援	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、ごみ収集指定袋の受注者が負担する仕入価格が高騰しており、協定で定めた卸売単価では事業の維持が難しい状況であるため、卸売単価を引き上げた場合の差額分について、出荷実績に応じて市が負担することにより、市場価格の高騰を抑え、市民の負担軽減を図るもの。	8,654,625	8,654,625	8,222,000	432,625	R4.8.26	R5.3.23	卸売に係る協定単価と値上げした場合の修正単価との差額分について、対象期間中に出荷したごみ収集指定袋の数量実績に基づき、卸売業者の受注者に対し助成金を交付した。事業経費は以下のとおり。 ・助成金(修正単価×年間出荷量)÷(協定単価×年間出荷量)×6/12ヶ月=8,654,625円	ごみ収集指定袋出荷実績数に応じた助成金交付を100%実施	ごみ収集指定袋出荷実績数に応じた助成金交付を100%実施	助成金を交付することで、ごみ袋の市場価格の高騰を抑えることができたため、市民の負担軽減を図ることができた。	-	-	-	資源循環課
⑧	保育施設等給食安定提供事業	物価高騰に直面する生活者支援	コロナ禍における食料費高騰により、質・量ともに落とすことなく賄えるよう、また、保護者が負担している食料費に高騰価格分を転嫁することのないよう、保育施設等に対し高騰価格分を補助金として交付することで、子どもの栄養バランス維持や保護者支援を図るもの。	18,083,343	11,641,390	11,059,000	582,390	R4.10.6	R5.3.30	市内の保育施設等39施設に対して、令和4年度と令和3年度の一人あたりの給食材料費の増額分と590円(県が設定した標準的な単価)を比較して低いほうの額を補助金として交付した。事業経費は以下のとおり。 ・交付総額 18,083,343円	支給施設数54施設	支給施設数39施設	補助事業により、コロナ禍における食料費高騰の中、質・量ともに落とすことなく賄うことができたことにも、保護者が負担している食料費に高騰価格分を転嫁することなく、子どもの栄養バランス維持や保護者支援を図ることができた。	-	-	-	子ども保育課

No	事業名	事業の種別	事業概要	総事業費 (円)	交付対象経費 (円)			事業 始期	事業 終期	事業実施内容	成果目標	成果(実績)	得られた効果		事業の対 象者への 効果の 顕著 性	聞き取りの 方法	聞き取り内容	担当課
					交付対象経費 (円)	交付金充当額 (円)	一般財源 (円)											
9	コロナ対策認定店支援チケット発行事業	物価高騰に直面する生活者支援	購入額にプレミアム分を上乗せした新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に取り組む店舗で使える市独自のチケットを発行し、感染症対策に取り組む店舗を支援するとともに、物価高騰の影響を受ける地域経済の活性化と市民生活の支援を図るもの。	1,049,578,283	274,228,283	255,095,000	19,133,283	R4.4.1	R5.3.20	群馬県が実施する『ストップコロナ! 対策認定制度』の認定店のうち登録店舗で使用できる1冊1万円円でプレミアム率30%の支援チケット77,535冊を販売し、取扱店舗の請求に基づき交付金を交付した。事業経費は以下のとおり。 ・特定事業者交付金 1,004,269,206円 ・事業委託料 42,949,008円 ・印刷製本費 1,108,800円 ・通信運搬費 404,735円 ・警備委託料 825,440円 ・消耗品費 21,094円	チケット発行数 80,000冊	チケット発行数 77,535冊	工オカキ	○	アンケート	・チケットの入手により、回答者のうち37.4%が「外食が増えた」、27.5%が「市内での買い物が増えた」と回答した。 ・回答者のうち97.2%が「経済対策として、チケットの発行は有効だと思う」と回答した。	商工労働課	
10	学校給食安定提供事業	物価高騰に直面する生活者支援	コロナ禍において食材費が高騰する中、今後も様々な食材価格の高騰が持続する場合は、現状の給食費の範囲では食材費を賄うことが困難になることから、保護者の負担を増やすことなく、学校給食を安定的に提供するため、高騰する食材費の増額分に交付金を充当するもの。	28,397,914	28,397,914	26,979,000	1,418,914	R4.6.7	R5.3.31	コロナ禍において食材費が高騰する中、保護者負担を増やすことなく学校給食を安定的に提供するため、高騰する食材費の増額に対応した。事業経費は以下のとおり。 ・対象者の膳材料費の決算額-対象者数×年間給食費=28,397,914円	食材価格高騰に伴い生じる保護者負担額0円	食材価格高騰に伴い生じる保護者負担額0円	イキ	-	-	-	健康給食課	
11	子育て世帯応援給付金給付事業	物価高騰に直面する生活者支援	コロナ禍におけるエネルギー・食料品等の価格高騰に直面する子育て世帯に対し、児童1人当たり1万円の給付金を支給することで、生活の支援を図るもの。	348,561,606	348,561,606	311,272,000	37,289,606	R4.10.18	R5.3.29	基準日(令和4年9月30日)時点で、住民登録のある高校3年生相当までの児童及び基準日の翌日から令和5年3月31日までの新生児で出生により本市に住民登録をした児童34,407人(受給者20,857人)に対し給付金を支給した。事業経費は以下のとおり。 ・給付金 344,070,000円 ・報酬(会計年度任用職員) 284,600円 ・職員手当等 670,868円 ・共済費(会計年度任用職員) 45,356円 ・旅費(会計年度任用職員) 8,400円 ・需用費(消耗品費・封筒印刷代) 800,449円 ・役員費(郵便料・振込手数料) 2,681,933円	対象者への給付率 100% (34,761人)	対象者への給付率 98.98% (34,407人)	イキ	-	-	-	子育て支援課	
12	高齢者応援チケット発行事業	物価高騰に直面する生活者支援	コロナ禍における生活必需品等の価格高騰により影響を受けている70歳以上の高齢者に対し、市内の商店等で利用できる商品券1万円を交付することで、生活の支援及び市内経済の活性化を図るもの。	204,762,500	204,762,500	178,158,000	26,604,500	R4.10.18	R5.2.1	支給対象者43,494人に対し1万円の商品券をゆうパックにより送付した。本交付金対象期間中の到達状況と使用状況は以下のとおり。 ・到達者数 42,727人(到達率98.24%) ・使用金額 204,762,500円(利用率47.08%) ※上記使用金額は本交付金の対象期間内のもの。対象期間外も事業は継続しており、最終的な使用金額は423,199,000円(利用率97.30%)。	利用率 95%	利用率 97.30%	工オカキ	○	電話・対面	・生活必需品の購入に充てることにより、家計の支えとなった。	高齢政策課	
13	原油価格・物価高騰事業者支援事業	原油価格高騰等に直面する事業者支援	新型コロナウイルス感染症及び原油価格や物価高騰の影響で売上高または粗利益が減少した市内事業者に対し、経営支援を行うもの。	253,877,674	253,877,674	241,202,000	12,675,674	R4.9.30	R5.3.30	コロナ禍において、原油価格や物価高騰の影響を受けている事業者の中で、特に影響が大きい業種を営み、売上高または粗利益が減少した事業者2,139社に対して、市独自の支援金100,000円を交付しました。事業経費は以下のとおり。 ・補助金 213,900,000円(1件当たり10万円) ・事業委託料 39,977,674円	申請事業者数 4,930事業者	申請事業者数 2,139事業者	工オカキ	○	アンケート	・申請済み事業者の約半数から、本補助金を評価できる結果が寄せられた。(アンケート結果) ・非常に厳しい状況下であり大変助かりました。(自由意見) ・今後も個人事業主でも申請出来る対策をお願いできると非常に助かります。(自由意見)	商工労働課	
14	施設園芸燃油高騰対策助成金事業	原油価格高騰等に直面する事業者支援	新型コロナウイルス感染症や燃油価格高騰の影響を受けている、本市に在住又は主たる事業所を置く施設園芸の農業者に対し、経営維持や継続の支援を行うため助成金を交付するもの。	5,144,882	5,144,882	4,887,000	257,882	R4.4.1	R4.5.26	本市に在住または主たる事業所を置く施設園芸の農業者に対して、令和3年10月から令和4年3月31日までに納品を完了したA重油で、購入価格が国の基準単価(83.1円/ℓ)を超えた場合、購入数量の合計から1リットル未満を切り捨てし、2.0円/ℓを助成した。事業経費は以下のとおり。 ・負担金、補助及び交付金 2.0円×2,572,441ℓ=5,144,882円(180件)	対象農業者 180件	対象農業者 180件	工オキ	○	アンケート	・各種農業資材費が高騰し負担が増える中、今回の施設園芸燃油の助成金がJAと市役所の両者からそれぞれ交付されたため資材費負担が軽減された。 ・申請時の手続きも複雑ではなく提出書類等の簡素化により申請手続き自体も思いやすかった。 ・国際情勢等の影響により、燃油に限らず肥料・農薬・被覆資材など農業資材の負担増が未だに続いている。	農政課	
15	肥料高騰対策助成金事業	原油価格高騰等に直面する事業者支援	新型コロナウイルス感染症や肥料価格高騰の影響を受けている農業者に対し、経営維持や継続の支援を行うため助成金を交付するもの。	10,829,995	10,829,995	10,289,000	540,995	R5.1.12	R5.3.30	市内の農業者に対し、肥料コスト上昇分の一部を支援し、農業経営の安定及び本市の継続的な農業振興を図ることを目的に、875件の助成金を助成した。事業経費は以下のとおり。 ・助成金 10,829,995円	対象農業者 1,400件	対象農業者 875件	工オキ	○	アンケート	・肥料購入の負担が軽減された。 ・価格高騰が続いているので、経営は苦しい状態にある。 ・今後も、支援していただけるとありがたい。 ・事業所が取りまとめの申請は、手間・時間等かかり、通常営業に支障を来してしまっした。	農政課	
16	飼料高騰対策助成金事業	原油価格高騰等に直面する事業者支援	新型コロナウイルス感染症や飼料価格高騰の影響を受けている畜産業者に対し、経営維持や継続の支援を行うため助成金を交付するもの。	19,537,789	19,537,789	18,561,000	976,789	R4.10.3	R5.3.23	R3.8.1からR4.7.31の間に購入し、市内農場で使用した牛・豚・鶏などの配合飼料について、畜種ごとに定めた単価に購入数量を掛けた金額を助成した。事業経費は以下のとおり。 ・助成金 19,537,789円 ・補助単価(1トンあたり) 豚709円 乳牛752円 肉牛617円 採卵鶏978円 70日齢-834円 ・補助対象件数 72件	対象農業者(牛)(豚)(鶏) 87件	対象農業者(牛)(豚)(鶏) 72件	工オキ	○	アンケート	・補助金のおかげで経営の負担が軽減された。 ・今も価格高騰が続いており、苦しい状態だ。 ・令和4年度中に助成を受けられた自治体は少なかったのがありがたい。 ・今の高騰が続くと経営規模に影響が出る恐れがある。	農政課	
合計				2,232,055,256	1,450,263,303	1,329,226,000	121,037,303											